

16 保健管理に関する事項

精神的にも身体的にも急速な成長的变化を遂げる学生にとって、健康教育、保健指導、学生相談は極めて重要である。また、社会環境の急激な変化から学生の心身の健康に弊害をもたらす様々な問題が顕在化している。その中でも特に自殺企図、自傷に至る心の問題は最も重要な課題の一つである。その他に薬物乱用(脱法ハーブ、シンナー、覚醒剤)、事件、事故など、大学が対応を迫られる問題は深刻かつ多岐に渡っている。これらの問題は、身体的にも精神的にも大きく揺れ動く学生に見られることが多く、保健管理を行う上で、社会環境の変化に対応した新しい取り組みが求められることから、引き続き「健康管理から健康教育へのシフト」及び「健康相談による健康教育」を行う。

また、保健管理センターでは、精神科医師(センター長)、内科医師(副センター長)による3キャンパスの診療及び指導、臨床心理士(カウンセラー)による相談を行う。このことに加え、社会福祉的な観点から指導助言ができるスーパーバイザーを迎えて、定期的に医師、保健師、看護師、臨床心理士によるケースカンファレンスを実施し、学生が抱える様々な問題を事例研修することで、適切な学生支援につなげる。

さらに、2009年度から実施している敷地内全面禁煙化については、入学時の早い段階から受動喫煙防止を徹底し、すべての本学関係者の健康を守るとともに、喫煙しない学生を育て社会に送り出すことができるよう取り組みを進める。その他、インフルエンザ予防接種、感染症対策、熱中症対策等、健康教育の実施のほか、AEDを活用できる学生応急手当普及員の養成を進める。

1 保健管理について

○「予防」に重点を置いた心身の健康管理

学内での集団感染の防止を図るため、保健管理センターでは感染症の発症状況をはじめとする情報を的確に把握し感染の拡大を防止する。特に、インフルエンザ流行前に医療機関の協力を得て学内で予防接種を実施する。その他、健康診断の受診率をあげるなど必要な措置を講ずる。また、保健管理センター委員会、衛生委員会において、各種情報の共有化を図り、学生、教職員の健康管理に努める。

○学生サポートの充実

新生オリエンテーション時に実施しているフレッシュャーズキャンプに、臨床心理士、看護師が同行し、健康教育、相談、体調管理を行い、サポートが必要な学生への支援を早期に開始する。

○ポータルサイトの活用

健診結果を早期に本人へ通知し、各自の健康管理に役立

てる。また、「こころの相談室」への来室を促すため、「なんでも相談室」との連携を図るとともに、電話・来室による申込に加えて、Webサイトによる予約受付を行う。

○敷地内全面禁煙化に伴う取り組み

2011年度より始めた新生オリエンテーション時の敷地内全面禁煙の周知や喫煙・受動喫煙の健康被害についての講演を行う。また、世界禁煙デーにあわせたイベントや健康診断等の機会を利用して禁煙の啓発を行うとともに、禁煙希望者に対してニコチンパッチを配布し、禁煙に関する技術的支援や助言を行う。

○健康教育の実施

学生が自らの健康を管理するための知識や実践力を習得し、健康への自己管理能力を身につけることを目的とした健康教育を実施する。具体的には、学生の授業期間にあたる4月から12月までの間、薬物防止、熱中症対策、感染症対策等テーマ別に健康教育を行う。

2 診療について

○診療体制の整備

センター長(精神科)ならびに副センター長(内科医)、大宮診療所長が中心となり学医が3キャンパスで診療を行い、学生、教職員の健康管理を行う。また、定期的(1カ月に1回)に、センター長、副センター長、保健師、看護師、臨床心理士によるミーティングを実施し、情報共有とコミュニケーションの向上を図り、業務推進の円滑化を行う。

○保健管理データベースの活用

診療所と相談室との情報共有を目的として構築したデータベースを活用し、保健管理センター内で、スーパーバイザー、医師、臨床心理士、保健師、看護師によるケースカンファレンスを定期的実施し、部内の情報共有と各部署との連携を強化し、学生支援や教職員の健康管理の向上のため、具体的な取り組みを行う。

○近隣医療機関との連携

学生・教職員の生活習慣病や健康診断に対応するため、必要な医師(女性医師を含む)による内科診療と精神科診療を実施する。センター長、副センター長のほか、担当する学医は近隣開業医や近隣医療機関等の医師に委嘱することで、保健管理センターの診療時間外に診療対応ができるように学外の近隣医療機関との連携強化を図る。

○緊急時の対応

保健管理センター閉室時の緊急マニュアルを各課に配付し、緊急時の対応と保健管理センターの閉室時間や近隣医療機関の場所、診療時間等を周知する。また、感染症対策として、予防的措置を検討し、感染拡大のリスクを回避し、緊急時に適切な対応ができるように努める。